

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 26 年度

市町村名	鴻巣市					
提案事業名	花と人形と「食」のまちこうのす地域力向上事業					
事業期間	26 年度 ~ 26 年度					
成果指標	(成果を検証する指標) こうのす花まつりの入込観光客数					
	(成果検証の具体的な方法) こうのす花まつりの入込観光客数の事業実施前と実施後の数値を比較し、増減数及びその原因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (26年3月時点)	219,700人	目標値 (27年3月時点)	300,000人	実績値 (27年3月時点)	216,420人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) — (実績) —	稼働率 (%)	(目標) — (実績) —		
住民への公表状況 及び特記事項		広報誌・ホームページ・チラシ等で周知する。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成26年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① まちづくりフェア事業	○ △ ×	平成26年度の花まつり期間については例年より天候に恵まれなかった点もあり、目標値の達成が望めなかった。 但し、平成25年度と平成26年度の各種イベントの入込客数を比較すると、人数は増加しており(1,093,190人⇒1,228,249人)、市の魅力PRを目的とした当該事業についても一定の評価が出来る。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	市内外より多くの方の来場を頂き、盛況の内にまちづくりフェアを行うことが出来た事は、こうのす魅力のPRには大きな成果が望めた。 また著名人(やまだ ごろう氏)をコメンテーターに招き、新たなまちの魅力向上の視点も確認できたことは、今後のPR展開に対し副次的ながら非常に効果があった。
実施事業について 成果が不十分である点	まちづくりフェア後の一番直近のイベントに結びつくように目標設定を行うも、若干目標値設定の見通しが甘かった点や天候不順などが重なり、目標値達成が出来なかった点は不十分といえる。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	本フェアにてコメンテーターから頂いたアドバイス等を含め、第12回埼玉B級ご当地グルメ王決定戦での「こうのす川幅うどん」の優勝といった成果と連動し、更なるこうのすの「食」を様々なイベント等でPRしていく。